

2011年3月期決算説明会

東プレ株式会社



2011年5月31日

東証第一部【証券コード 5975】

業績概要

- 売上高:増収 営業利益、経常利益:いずれも増益
- 当期純利益:移転価格税制に係る過年度法人税等(約21億円)計上の影響から減益
- 市場環境の改善等から期初計画値を上回った。

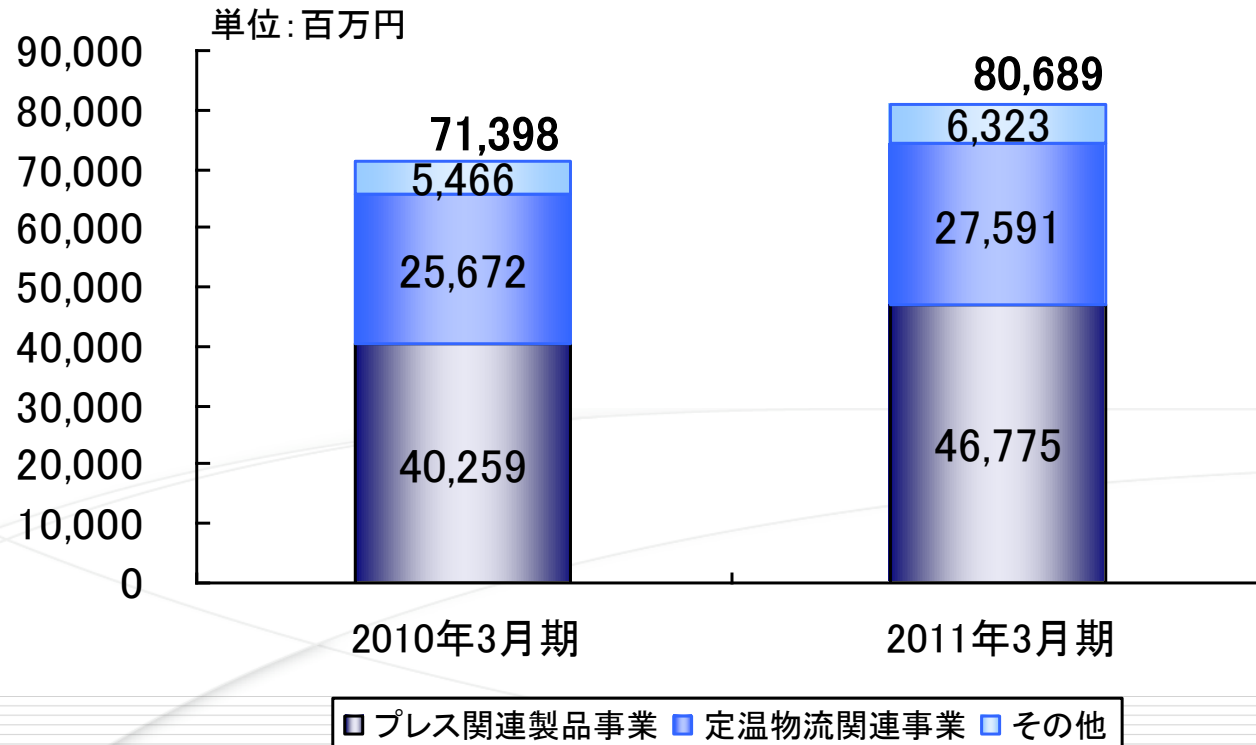
(単位:百万円)

	2010年3月期	2011年3月期	前期比		期初計画値
			増減額	増減率	
売上高	71,398	80,689	9,291	13.0%	78,000
営業利益	4,629	5,501	872	18.8%	4,700
経常利益	4,874	5,586	712	14.6%	5,000
当期純利益	2,151	936	△ 1,215	△ 56.5%	2,800
為替レート(US\$)	93.04円	83.15円			

開発費	909	1,020	111	12.20%
設備投資額	10,983	4,021	△ 6,952	△ 63.3%
減価償却費	6,534	8,295	1,761	27.00%

事業別売上高

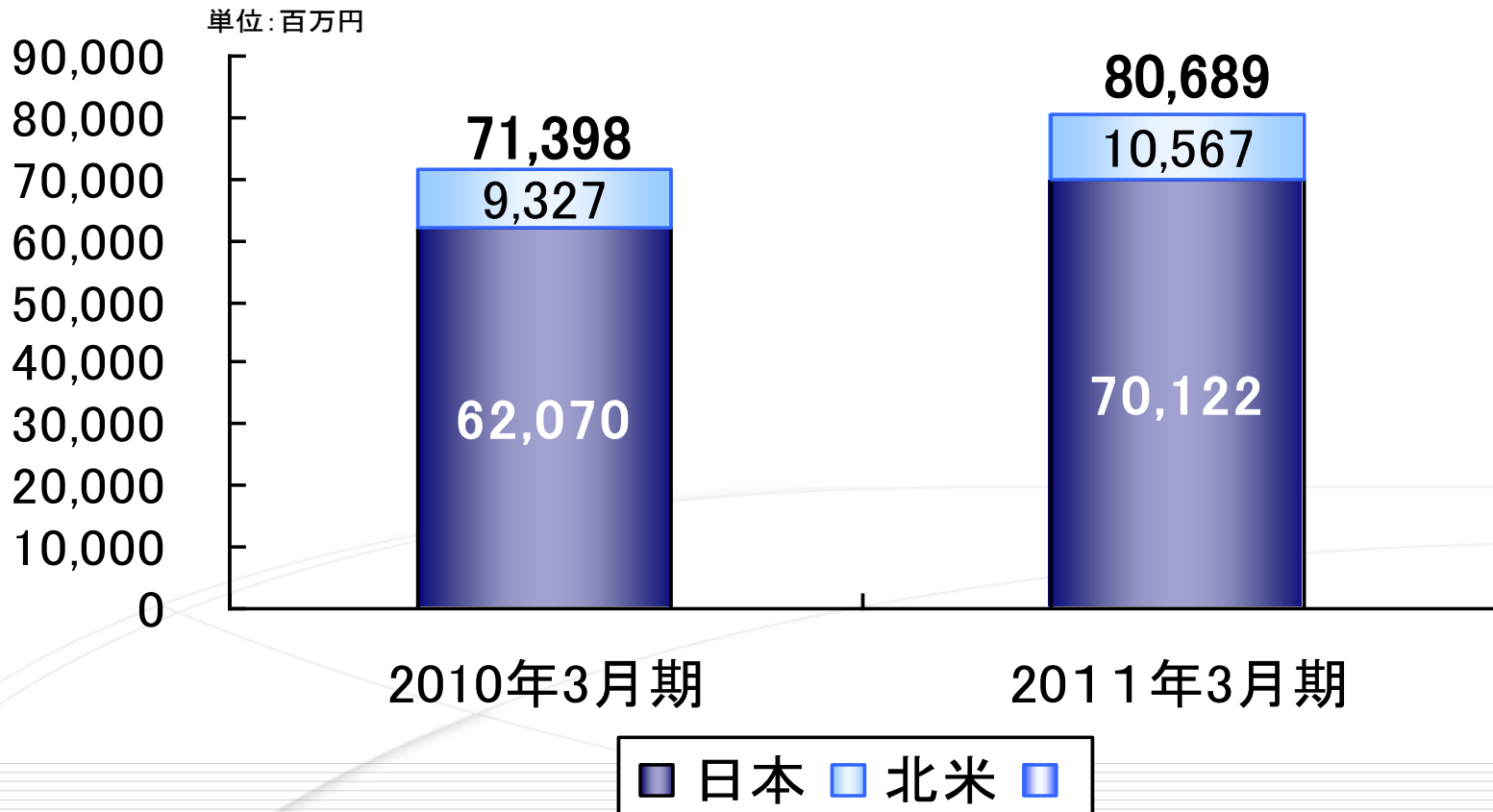
- プレス関連製品事業： 国内、北米市場の改善、新興国の旺盛な需要
- 定温物流関連事業： 補助金への駆け込み需要、宅配便向等冷凍車受注の増加等
- その他： 空調設備需要の回復、組込型タッチパネル、キーボードの受注増加



地域別売上高

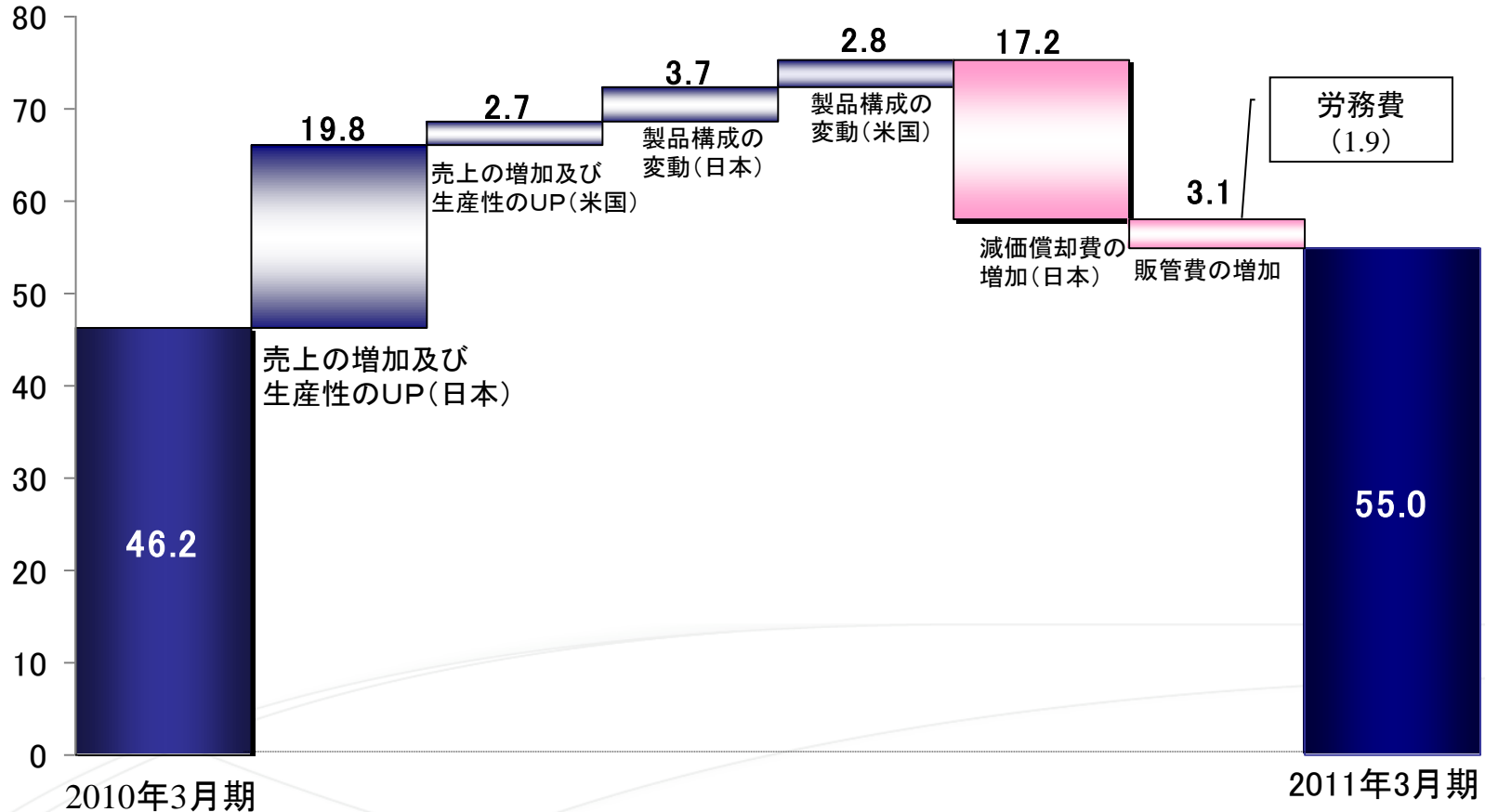
■北米： 自動車市場の回復

■国内： 自動車生産の改善、冷凍車、空調機器部門の回復が寄与



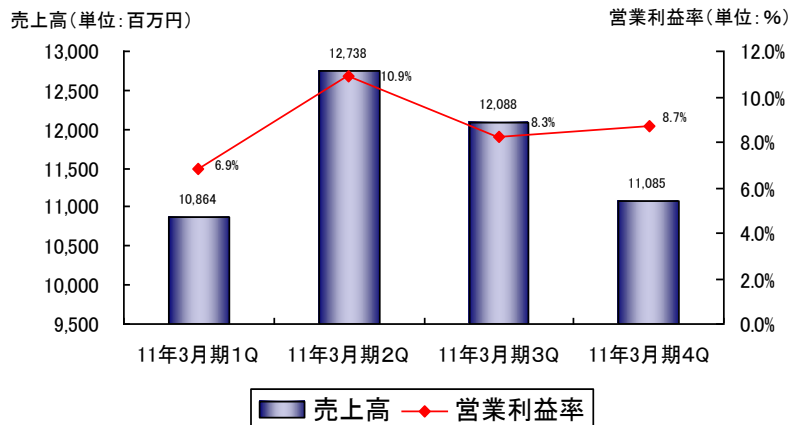
営業利益の増減要因

単位: 億円



売上高・営業利益率四半期推移(事業)

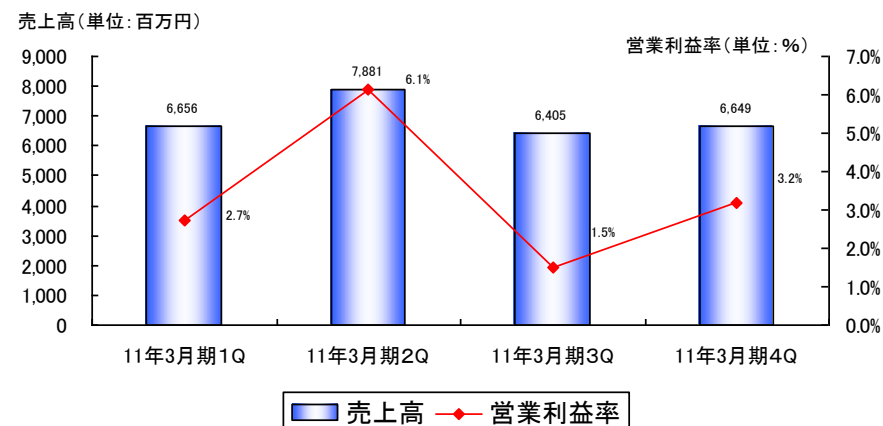
プレス関連製品事業



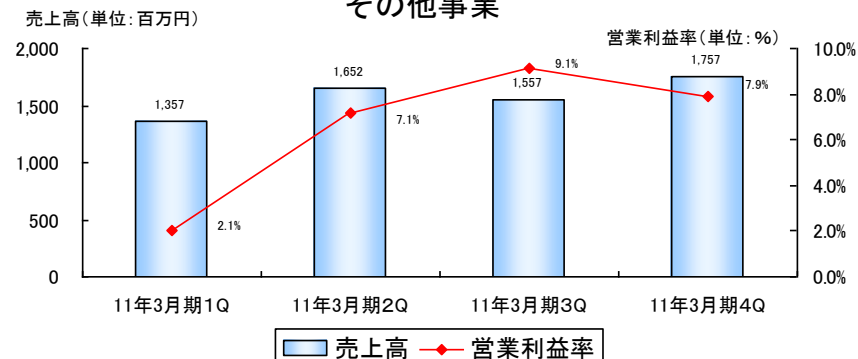
震災による売上への影響

プレス関連製品	△18.7億円
定温物流	△3.5億円
その他	△0.5億円

定温物流関連事業



その他事業



注: ①事業別別合算値(連結調整前)

②その他事業は空調機器、電子機器、表面処理事業等

連結貸借対照表要約

(単位:百万円)

	2010年3月期	2011年3月期
現金同等物	7,956	10,154
売上債権	17,791	16,713
有価証券・金銭債権信託受託権	12,229	15,304
棚卸資産	3,727	6,177
その他流動資産	2,849	2,462
固定資産	44,736	38,312
資産合計	89,288	89,122

(単位:百万円)

	2010年3月期	2011年3月期
有利子負債	1,866	2,730
その他負債	22,070	22,176
純資産	65,352	64,216
負債純資産合計	89,288	89,122

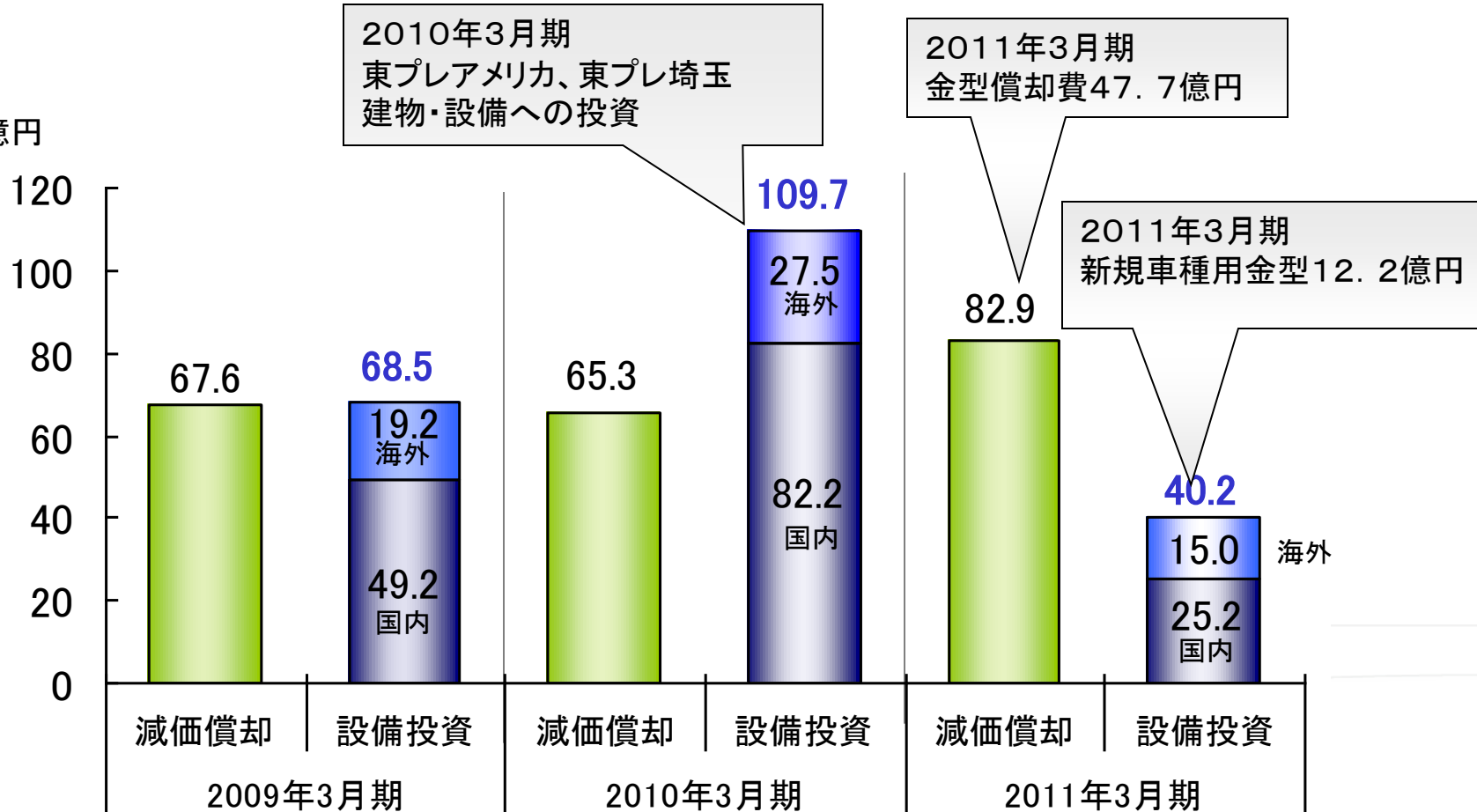
キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2010年3月期	2011年3月期
営業キャッシュ・フロー	10,548	9,671
投資キャッシュ・フロー	△ 15,698	△ 1,981
設備投資	△ 11,471	△ 2,707
財務キャッシュ・フロー	383	△ 532
現金及び現金同等物の期末残高	12,785	20,579

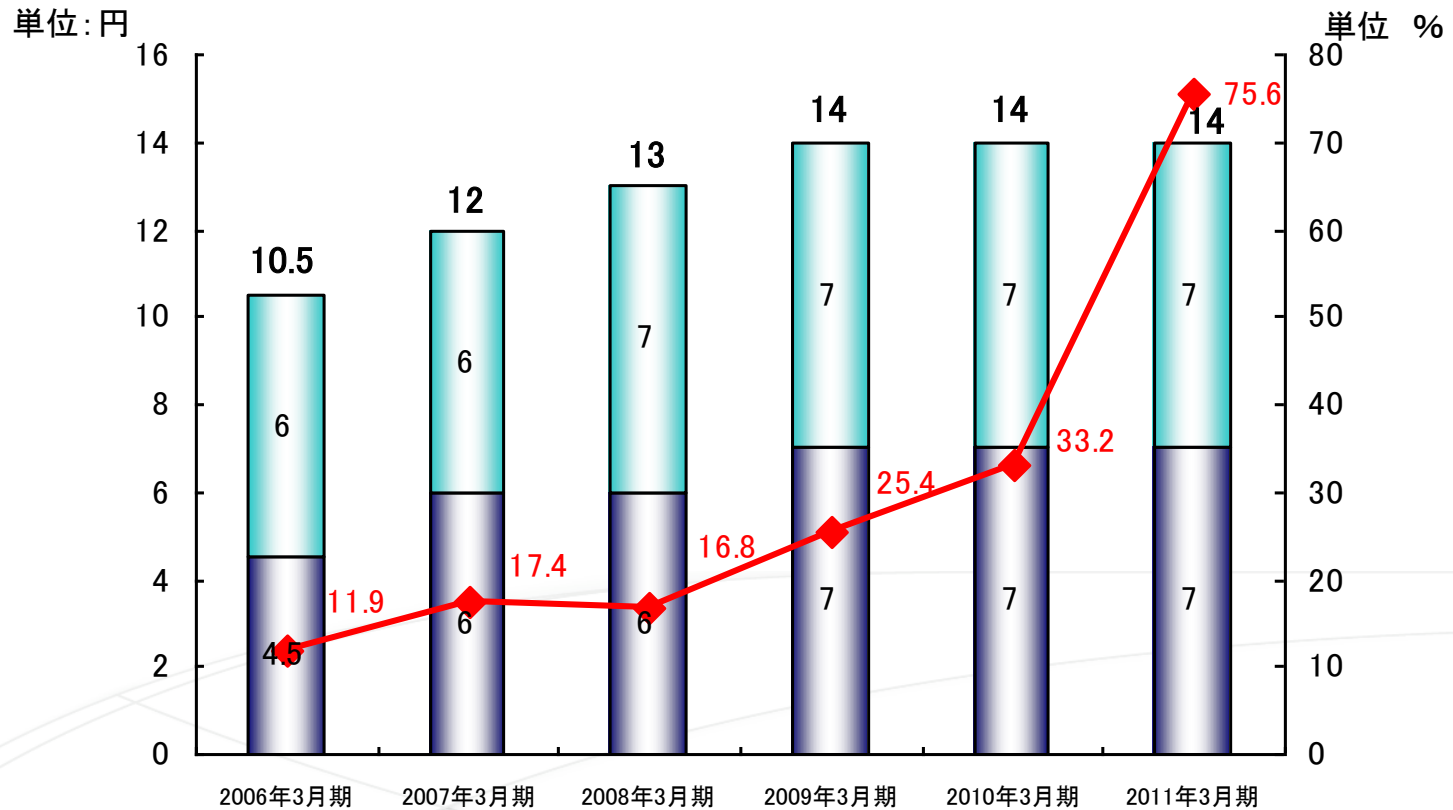
設備投資・減価償却費推移

単位: 億円



株主還元

配当基本方針： 安定的かつ継続的な配当を実現すること

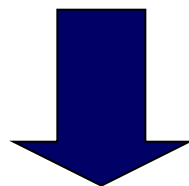


■ 期末配当 ■ 中間配当 ◆ 配当性向

移転価格税制交渉の見通し

背景

2006年3月期～2009年3月期までの4事業年度の東プレアメリカとの取引について、「移転価格税制に係る更正通知」を受け、2011年3月期に過年度法人税として約21億円を計上



見通し

日米において2重課税の状態。(3月23日、税務当局へ相互協議申し立て)今後両国間の相互協議が合意した後、減額更正を受け解消される見込み

事業環境について

環境分析

- 先進国の景気は穏やかな回復傾向
- 新興国経済は順調に拡大
- 環境へのニーズの高まり
- 国内は、震災の影響により厳しい状況続く→下期、回復を期待

業界動向

- プレス関連製品事業
生産規模低迷、電力対策→当面の間継続、夏場以降回復へ
各生産拠点、回復時に速やかに対応できる体制づくり
- 定温物流関連事業
震災影響・・・架装用シャーシ遅れ、リース延長による更新先送り
排ガス規制による更新需要・・・潜在需要
- その他事業
空調機器・・・輸出用空調設備堅調、住宅建築、着工停滞

Topre 第12次中期経営計画 (東日本大震災による影響は未反映)

中期経営計画スローガン

新たな成長と体質強化

＜成長期の新興国市場と経済成熟期の日本市場の中で東プレがおこなうべき戦略を明確にし、発展と生き残りを掛ける＞

経営目標数値

(単位:百万円)

	2011年3月期実績	2014年3月期 (中計最終年度)
売上高	80,689	95,000
営業利益	5,501	7,800
経常利益	5,586	8,200
当期純利益	936	4,900
ROE/ROA	1.6%/1.1%	6.7%/4.6%

Topre 第12次中期経営計画 (東日本大震災による影響は未反映)

基本方針

(1) 国内・海外の販売生産戦略構築

厳しくなる国内環境での対応と新たな海外市場参入を進める。
また、それを押し進める社内体制を整える

目標値

海外売上高 20%
(連結売上比)

(2) 新規創出

新製品、新技術、新顧客、新市場への開拓を行う

- ・モデルチェンジによる新製品投入による国内シェア拡大
- ・開発技術応用製品の販売拡散

目標値

新規売上率 20%
(単独売上比)

(3) コスト競争力強化

国内、海外ともにコスト競争力を更に押し進める。

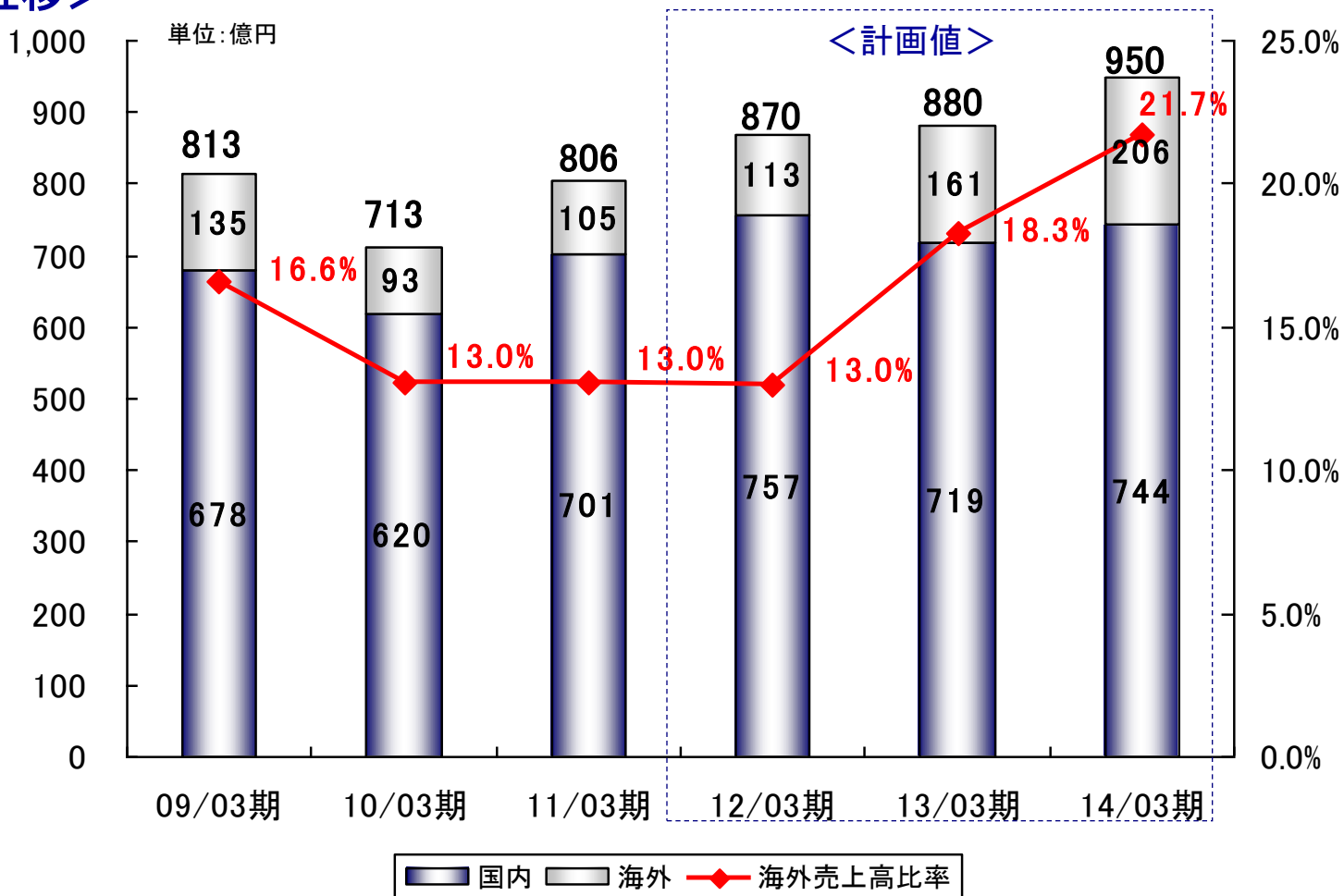
- ・海外調達拡大
- ・モノづくりの改革
- ・間接業務の効率化

目標値

各部門にて掲げた合理化、
削減項目の遂行

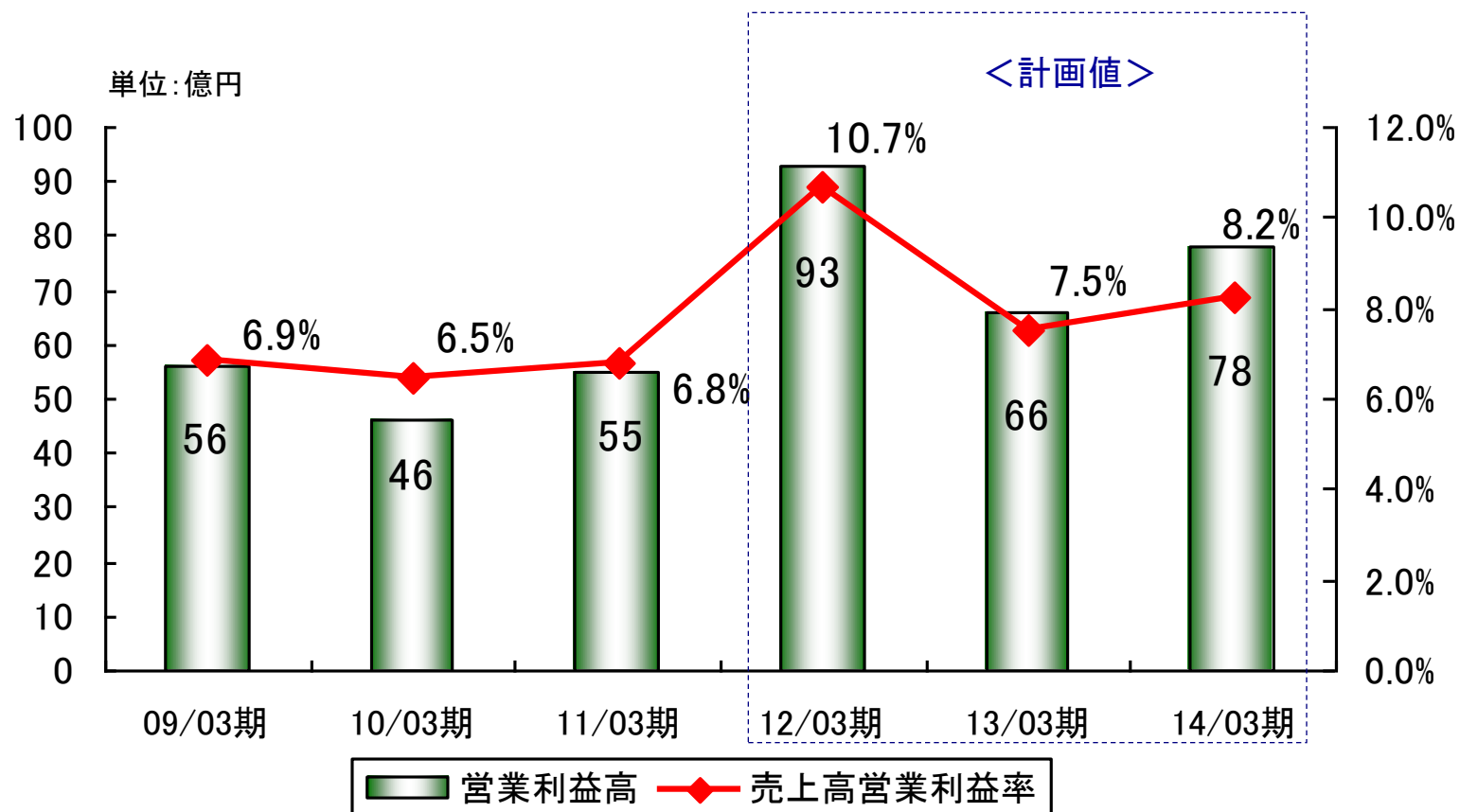
第12次中期経営計画 (東日本大震災による影響は未反映)

<売上高推移>



Topre 第12次中期経営計画 (東日本大震災による影響は未反映)

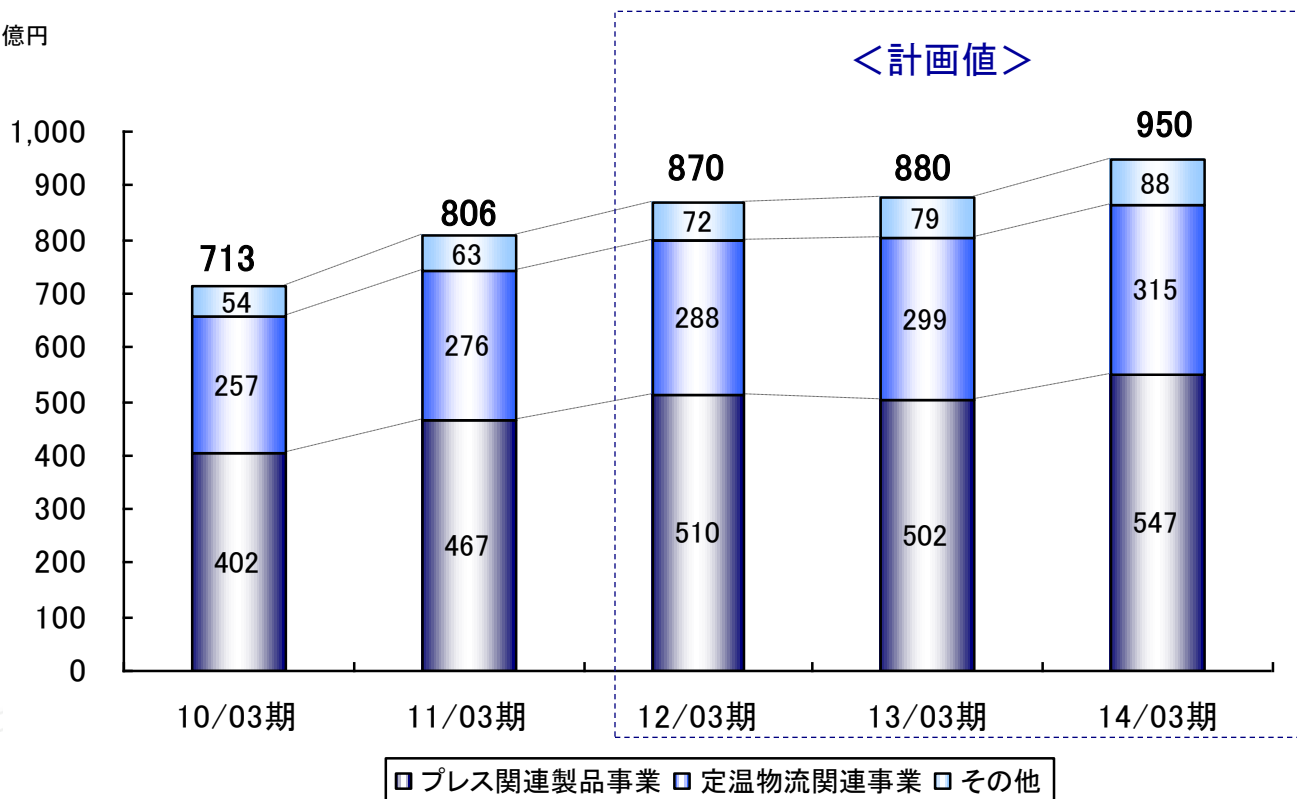
<営業利益推移>



Topre 第12次中期経営計画 (東日本大震災による影響は未反映)

<事業区分別売上推移>

単位: 億円

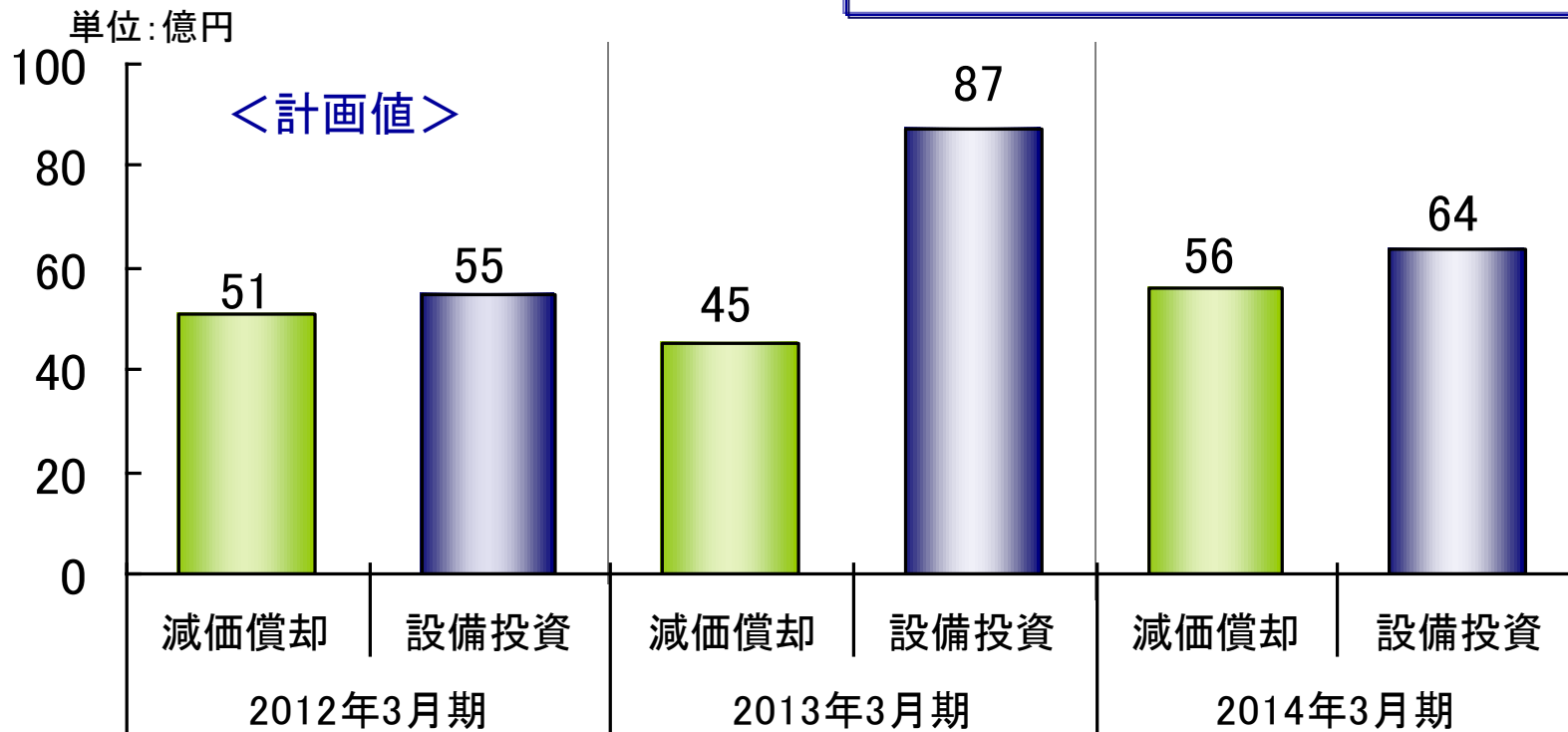


Topre 第12次中期経営計画 (東日本大震災による影響は未反映)

<設備投資・減価償却推移>

主な投資： 金型、中国への設備投資

* 市場動向、市場調達環境により追加投資も検討



1. 中国、タイの円滑な立上げ

2. 技術領域の拡大と新市場の拡大

3. 国内外の生産拠点の強化

- 「東プレ埼玉」工場建設、稼動 (2009年)
- 「東プレアメリカ」の設備増強 (2009年)
- 中国広東省佛山市に工場建設 (2010年)
⇒世界No.1の自動車市場の需要拡大に対応
- タイに販売会社「TOPRE (THAILAND) Co., LTD」設立 (2010年)
- 新興国自動車産業拡大への対応 ⇒市場調査



東プレ埼玉



東プレアメリカ



東普雷 (佛山)

定温物流関連事業

冷凍車・・・商品性向上

- 新型GBSシステム・・・環境に配慮した、アイドリングストップ時にも車内冷却可能
- 新型冷凍装置・・・「XVシリーズ」発売、冷却性能の向上、軽量化
- 新型大型コンテナ・・・軽量化、環境性向上(脱木&軽量化&保冷性能)

その他事業

既存領域への更なる新商品の投入と販路拡大

- 空調機器・・・住宅換気、送風機(プラグファン)
- 電子機器・・・組込型タッチパネル、キーボード「REALFORCE」